

各務原市まちづくり活動助成金



令和4年度交付事業報告集



令和5年度交付事業一覧も掲載しています。

各務原市 市長公室 まちづくり推進課

〒504-8555 各務原市那加桜町1-69 TEL:058-383-1997
E-mail:machidukuri@city.kakamigahara.gifu.jp

当報告集は
ウェブページからも
ご覧いただけます。



※掲載してある内容は、団体から提出された実施報告書類や団体へのヒアリングおよび取材をもとに作成しました。

令和4年度交付事業

スタート助成1年目 (NO.1)			
No	事業名	分野	団体名
1	子供のボランティア参加促進事業	まちづくりの推進 子どもの健全育成	キッズボランティア リトルハンド
まちづくり助成1年目 (NO.2~4)			
2	ミニSLによる 三世代交流再開事業	まちづくりの推進 子どもの健全育成	ミニSL各務原
3	マルシェによる子どもたちの 成功体験応援事業	子どもの健全育成 社会教育の推進	NPO法人 for your smile
4	地域文化芸術レガシーの承継と新たな 挑戦：村国座・皆楽座を活用した第1 回貞奴芸術祭の開催事業	学術、文化、芸術又は スポーツの振興 観光の振興	創作オペラ「貞奴」 プロジェクト
スタート助成2年目 (NO.5・6)			
5	アンケートによる住民の意向調査事業	まちづくりの推進	耀く大野町まちづくり委員会
6	子育て・親力アップセミナー事業	子どもの健全育成 社会教育の推進	スコーレ各務原
まちづくり助成2年目 (NO.7)			
7	夏祭りプロジェクト事業	まちづくりの推進	雄飛地区まちづくり委員会

当事業報告集は、市ウェブサイト（www.city.kakamigahara.lg.jp）からも
閲覧・ダウンロードすることができます。

ホーム > くらし・手続き > 市民活動・まちづくり活動・自治会 > まちづくり活動 >
まちづくり活動助成金 > 令和4年度助成交付事業 > 令和4年度助成交付事業報告



各務原市まちづくり活動助成金とは

この助成では、市民の皆様が知恵を出し合い、力を合わせて地域の課題解決をする「市民によるまちづくり活動」の促進と NPO や市民活動団体の成長を目的に団体が行う活動や事業に要する経費の一部を、予算の範囲内で助成するものです。

まちづくり活動とは・・・

まちづくり活動とは、広く市民に開かれ、地域課題解決に向けた取り組みを行っている公益的な活動をいいます。まちづくり活動によって、地域が元気になり、活動者自身もその成果を実感できます。

まちづくり活動助成金の種類・条件等

助成実施期間		助成対象年度 4月1日から3月31日まで				
助成金種類		スタート助成金		まちづくり助成金		
		■設立後3年未満の市民活動団体 ■団体の設立及び自立を目指す		■設立後3年以上の市民活動団体 ■課題解決する団体への更なる成長を目指す		
		1年目	2年目	1年目	2年目	
助成金額	助成率①	助成対象経費の2/3以内	助成対象経費の1/3以内	助成対象経費の2/3以内	助成対象経費の1/3以内	
	限度額②	100,000円	50,000円	300,000円	150,000円	
	持出し額③	(総事業費)-(事業実施に伴い得られる国・県補助金、利用料金、その他収入合計)				
	①～③の金額を比較し、一番少ない額が助成金額です。(千円未満端数切捨て)					
審査	書類	○	○	○	○	
	公開プレゼンテーション	/		○	/	
報告	公開報告会	○	/		/	
	実施報告書類	○	○	○	○	

- 申請は、年度内に1団体1事業1回まで、同一事業での申請は2年度(回)までです。
- この助成は2年目の交付を保証するものではありません。2年目の交付を希望する場合、再度申請が必要です。
- 当該助成事業の終了した年度の翌年度は、別事業であってもまちづくり助成金の申請はできません。

【参考】令和5年度のまちづくり活動助成スケジュール

まちづくり活動助成金 応募・審査の流れ	
令和4年 10月	助成金説明会
令和4年 12月	応募書類受付
令和5年 2～3月	書類審査
令和5年 3月	公開プレゼンテーション (発表は、まちづくり助成1年目のみ)
	採択・不採択通知

まちづくり活動助成金 申請・交付決定後の流れ	
令和5年 4月	交付申請・交付決定・交付事業開始
令和5年 11月	中間報告書類提出
令和6年 1月	公開報告会
令和6年 3月	実施報告書類提出 (提出締切日は事業によって異なりますのでご確認ください)

※助成金説明会・応募書類受付時期は変更になる場合があります。翌年度の募集についてはご確認ください。

No.1	団体名	キッズボランティア リトルハンド		
助成金種類 事業名	スタート助成<1年目> 子供のボランティア参加促進事業			
事業概要	幼児から高校生までの子供と保護者が参加できるボランティアを企画運営する。 子供が地域でお手伝い出来ることを探し、地域貢献に繋げる。			
事業費総額(予算)	16,573 円(変更後)	助成金交付決定額	11,000 円(変更後)	
事業費総額(確定)	16,573 円	助成金額(確定)	11,000 円	
主な経費内容	チラシ印刷代、A4 用紙、プリンターインク、事務消耗品、収納ケース、軍手			

●実施内容

■ボランティア依頼を募るチラシを作成、市内公共施設へ配架

■「マーブルクレヨンプロジェクト」:ワークショップのお手伝い

日時:9月23日(金)9:30~16:00

場所:イオンモール各務原

参加者:小学生5名、中学生5名、保護者4名

■「子どもものづくりマルシェ」

日時:11月27日(日)9:30~15:30

場所:産業文化センター

参加者:小学生7名、保護者3名

運営スタッフとして参加。受付、消毒、検温、案内係、幼児用無料ゲームの係担当

■清掃ボランティア

① 日時:1月8日(日)13:00~14:00

場所:鵜沼南町公園~木曾川河川敷

参加者:小中学生11名、保護者2名

② 日時:3月5日(日)13:30~14:30

場所:大安寺川河川敷

参加者:小中学生20名、保護者4名

- 7月 ボランティア募集依頼のチラシ製作
- 8月 子どもものづくりマルシェ担当者とは電話打ち合わせ
- 9月 3日 子どもものづくりマルシェ担当者とは打ち合わせ
- 9月 17日 マーブルクレヨンプロジェクト担当者とは打ち合わせ
- 9月 23日 マーブルクレヨンプロジェクトのワークショップ参加
- 11月 17日 子どもものづくりマルシェの担当者とは打ち合わせ 景品購入の手伝い
- 11月 18日 子どもものづくりマルシェで使用するストラックアウトの備品準備
- 11月 27日 子どもものづくりマルシェに運営ボランティアとして参加
- 1月 8日 清掃ボランティア 鵜沼南町公園~木曾川河川敷
- 3月 5日 清掃ボランティア 大安寺川



●事業成果

・この地域では子供が継続的にボランティア活動に参加できる機会が無かった。中学生以上はふれこみ隊に参加出来るが、この事業を行う事で小学生以下にも家庭外でボランティアに参加する機会を設けることができた。

・ボランティア活動をする事により、子供が地域や社会課題に関心を向け、更に地域貢献意識を持つきっかけを作る事が出来た。

・参加者からは、「楽しくボランティアが出来て嬉しい。最初は緊張したけれど、自分でお手伝い出来る事を探す事が出来た」(小3)、「ボランティア出来る場所を探していたのでとても嬉しい。また参加したい」(中2)などの感想があった。

●団体の活動目的・目標

ボランティアを通して、子供達の福祉や社会貢献意識を育む事を目的としています。

子供達が参加しやすい団体となり、地域のボランティア発展につなげたいと考えています。

No.2	団体名	ミニ SL 各務原	
助成金種類 事業名	まちづくり助成<1年目> ミニ SL による三世代交流再開事業		
事業概要	市内の地域三世代交流を目的に、市内の保育園・幼稚園児にミニ SL に楽しく乗車していただく事業。		
事業費総額(予算)	479,969 円	助成金交付決定額	300,000 円
事業費総額(確定)	483,854 円	助成金額(確定)	300,000 円
主な経費内容	レール消耗品、枕木、石炭、事務消耗品、保険料、缶バッチ作成委託料、チラシ印刷委託料、デザイン費、リニアモーターカー備品、SL(マウンテン)備品		
<p>●実施内容</p> <p>■4月にチラシを作成。5月上旬に市内公共施設ラック32カ所に計200枚配架。チラシ内容は、活用案内とボランティアスタッフの募集とした。</p> <p>■ミニ SL、リニアモーターカーを随時整備し、運行に向けてレールの修繕を行った。6月29日(水)・8月3日(水)には整備の様子を公開した。</p> <p>■ミニ SL・リニアモーターカー運行</p> <p>①日時： 9月7日(水) 10:00~11:00 スタッフ8人 場所：前宮そらまちこども園 180人の園児に缶バッチを渡した。</p> <p>②日時： 10月29日(土) 10:00~15:00 スタッフ7人 場所：川島ライフデザインセンター 川島社会福祉協議会主催によるイベント。幼児から高齢者まで延べ400人の乗車。</p> <p>③日時： 12月11日(日) 9:00~11:00 スタッフ10人 場所：緑町第2公園 川島緑町自治会主催によるイベントに参加。幼児から大人まで、延べ200人の乗車。</p> <p>■12月18日(日)13:00~15:00 スタッフ6人 線路及びミニ SL・リニアモーターカーの清掃を行った。</p> <p>4月 チラシ作成打ち合わせ 5月 整備・修繕 5月11日 チラシ配架依頼 6月・7月 整備・修繕 8月 レール修繕 9月7日 前宮そらまちこども園 10:00~11:00 10月29日 川島ライフデザインセンター 10:00~15:00 12月11日 緑町第2公園 9:00~11:00 12月18日 ミニ SL・線路等清掃 13:00~15:00</p>			
<p>●事業成果</p> <p>・高齢者の方や小さな子どもの乗車するときには、乗車の手伝い・見守り・乗車説明や注意喚起などの声掛けを通じて、スタッフと子どもだけでなく、子どもの保護者との交流も生まれた。また、高齢者の乗車では、列に並ぶ子どもたちが乗車中の高齢者に向かって手を振り、高齢者の方たちが嬉しそうに応じた様子があった。</p> <p>・新規運行ボランティア参加2人があったが、整備ボランティア希望者がえられなかった。</p> <p>・整備や缶バッチの用意ができ、ミニ SL の運行ができる状況となった。保育園・地域行事主催から相談が増え、三世代交流事業に参加してみようという機運が地域に少し戻ってきたと判断できるが、缶バッチ有料に対し予算がないなどの理由から活用を見送る幼稚園・保育園があったため、次年度は、運行自体は無料提供ができることを明記し、改めて活用を勧めていく必要がある。</p>			
<p>●団体の活動目的・目標</p> <p>市内の地域三世代交流を目的に、市内の保育園・幼稚園児にミニSL(リニアモーターカー)に楽しく乗車して頂く。</p>			



No.3	団体名	NPO法人 for your smile	
助成金種類 事業名	まちづくり助成<1年目> マルシェによる子どもたちの成功体験応援事業		
事業概要	子どもが自己肯定感を高め、自主的に動く力を身に付けられるよう、子どもたち主体のマルシェの開催を目指して学ぶプログラムを実施する。		
事業費総額(予算)	258,772 円(変更後)	助成金交付決定額	169,000 円(変更後)
事業費総額(確定)	258,772 円	助成金額(確定)	169,000 円
主な経費内容	講師謝礼、駐車場代、チラシ印刷費、コピー用紙、会場装飾、事務消耗品、大判印刷、名札、体温計、感染症対策用品、傷害保険料、郵送費、会場使用料、保管コンテナ、荷物運搬用台車、おにぎり・お茶(助成対象外経費)		

●実施内容

内容: 子どもが自己肯定感を高め、自主的に動く力を身に付けるためのワークショップと、子どもたち主体のマルシェの開催

場所: 産業文化センター2階第3会議室

■第1回ワークショップ 8月7日(土)10:00~12:00 子ども32人・保護者等25人参加

- ・子ども出店者さん顔合わせ、自己紹介
- ・大澤瑠美さん作成資料より、出店のコツを学ぶ講座

■第2回ワークショップ 9月17日(土)10:00~12:00 子ども30人・保護者等19人参加

- ・各務原高校会計コース生徒3人より会計シミュレーション講座
- ・代表松原英人より、人に喜ばれる心の作り方講座

■前日準備 11月26日(土)15:00~21:00 子ども32人・保護者30人参加

- ・商品搬入、参加者有志による会場装飾
- ・出店者同士の交流

■子どもものづくりマルシェ開催 11月27日(日)10:00~15:00 来場者数516人

子ども33人16ブース、プロ出店者2ブース、大人ボランティア8人、キッズボランティア/トルハンドによるボランティア 子ども6人・大人2人参加

■振り返りの会 12月4日(日)10:00~12:00 子ども29人・保護者10人参加

- ・マルシェ当日の様子、工夫したこと、感想の共有
- ・アンケート取得

4月	再企画	10月	マルシェチラシ作成
5月	募集チラシ作成 教育委員会後援申請	11月	チラシ配布
6月	チラシ配付	11月26日	前日準備
7月	募集締め切り 出店者へ要項郵送	11月27日	マルシェ開催
8月7日	第1回ワークショップ	12月4日	振り返りの会
9月17日	第2回ワークショップ		



●事業成果

- ・アンケートでは、子どもたちから「マナー講座の内容が実践で活かされた」、「商品が売れること、喜んでもらえること、ありがとうと言ってくることがうれしかった」、保護者からは「お金を稼ぐ大変さ、人と接することの大切さを学ぶことができた」等の声が得られた。
- ・当初は「難しい」と感じて積極的に動けなかった子どもたちが、徐々に積極的に動くようになり、当日、自ら考えて来場者に声をかけるなどの変化が見られた。近い距離で互いに刺激しあうことができた。
- ・自分の頑張りが「商品が売れる」という結果につながったことで、自己肯定感の高まりや成長が感じられた。

●団体の活動目的・目標

この法人は、地域社会において、人材育成のためのセミナー、各種行事開催、社会教育活動、コミュニティ活動等に関する事業を行い、人間力活性化を図るとともに、郷土への貢献意識を育ませ、もって地域を活性化し、地域社会の発展に寄与することを目的とする。

No.4	団体名	創作オペラ「貞奴」プロジェクト		
助成金種類 事業名	まちづくり助成<1年目> 地域文化芸術レガシーの承継と新たな挑戦: 村国座・皆楽座を活用した第1回貞奴芸術祭の開催事業			
事業概要	世界で活躍し日本の近代舞台芸術の先駆けとなった、各務原ゆかりの川上貞奴を顕彰して、各務原内外の音楽家・愛好家らと共に芸術祭を開催する。会場は使用可能な形で修復されている明治時代に建てられた二つの農村舞台を活用。各務原の新たな魅力的なコンテンツの創出へ向けて第一歩を踏み出す。			
事業費総額(予算)	872,800円	助成金交付決定額	300,000円	
事業費総額(確定)	844,991円	助成金額(確定)	300,000円	
主な経費内容	出演者謝礼、チラシ印刷代、資料印刷代、事務用品代、通信費、振込手数料、チケット販売手数料、公演時会場使用料、練習・会議時会場使用料、村国座駐車場警備・受付・準備・村国座使用補助委託費、保険料、弁当(助成対象外経費)、構成員謝礼(助成対象外経費)			

●実施内容

■第1回貞奴芸術祭～清流編～

日時:7月10日(日) 午前の部 10:30 開演 午後の部 14:00 開演

場所:皆楽座

入場者数:午前 33名/ 午後 31名

入場料:各回 2,000円

内容:貞奴に捧げる即興的オマージュ・
貞奴のアリア『そうよ、水の流れのように』
『Ma Sada Yacco 凜として咲くが如く』



■第1回貞奴芸術祭～紅葉編～

日時:11月27日(日) 13:30 開演

場所:村国座

入場者数:150名

入場料:2,000円

内容:第1部 オペラ貞奴 GALA コンサート
第2部 オペラ「カルメン」より



5月 8日 事業説明会および合唱メンバー募集	10月 2日 中央ライフデザインセンターのクラブ・サークル発表会に合唱・出展で参加「紅葉編」を告知
5月 24日 「清流編」チラシ仕分け・配布開始	
6月 1日 広報かかみがはらに「清流編」告知記事	11月 1日 広報かかみがはらに「紅葉編」告知記事
7月 9日 リハーサル	11月 21日 村国座各務中組歌舞伎保存会と打ち合わせ
7月 10日 第1回貞奴芸術祭～清流編～開催	11月 26日 舞台設営、リハーサル
8月 26日 「紅葉編」に向け各務原市全国まちおこし映画祭実行委員会代表と打ち合わせ	11月 27日 第1回貞奴芸術祭～紅葉編～開催

●事業成果

・皆楽座を会場とすることで、市民にとって身近でハイレベルのパフォーマンスを楽しめる機会を提供することができた。また、県外からの来場者は、会場周辺も楽しんでいかれた様子が伺えた。

・アンケートからは、芝居小屋の雰囲気もよく、様々なジャンルの芸術に触れることができた、場所の活用がよい、一体感が感じられた、などの声が聞かれた。

・紅葉編は、関係者 80名ほどが協働して作り上げることができた。各務原市全国まちおこし映画祭実行委員会、村国座各務中組歌舞伎保存会、文化財課の皆さんとも協働することができた。

・「文化財の有効活用」「地域のアーティストや芸術愛好家らが交流するクリエイティブな舞台芸術活動の場の創出」「各務原の魅力の再発見と発信」について、一定の成果を得られた。また、今後の可能性についても示すことができた。

●団体の活動目的・目標

郷土ゆかりの偉人・川上貞奴の生涯をオペラとして企画・構成・演出し、演奏・上演することを目的とし、また、各務原市民が主体となって地域の芸術・文化に寄与するものとする。会員の和を大切に、貞奴が「無欲・無心」で芸に打ち込んだように、創作オペラ「貞奴」を創り上げ、次代に継承していくことに努力する。

No.5	団体名	耀く大野町まちづくり委員会		
助成金種類 事業名	スタート助成<2年目> アンケートによる住民の意向調査事業			
事業概要	大野町住民(約 360 世帯)に対して、よりよいまちづくりのための意識・意向調査を実施する。そのアンケート結果を踏まえ、次年度に取り組むべき事業を企画立案する。また、住民が調査報告書を開覧することにより、地域課題解決の意識が高まり、よいまちづくりのきっかけ作りを行う。			
事業費総額(予算)	52,228 円(変更後)	助成金交付決定額	13,000 円(変更後)	
事業費総額(確定)	52,228 円	助成金額(確定)	13,000 円	
主な経費内容	印刷用紙代、プリンターカラーインク代、お茶(助成対象外経費)			

●実施内容

■防災イベント

日時:10月8日(土)9:00~15:00

場所:大野町公民館

内容:防災イベントとして市の防災対策課に出前講座を実施いただき、講座前後での住民の防災に関する意識変化や住民の声を把握し、自治会や市に反映させることを目的とした防災イベントに関するアンケートを実施した。



◎防災アンケート

<対象・範囲> 大野町の全住民(アパート等も含む)

<事業内容>

- ・防災イベント前後での防災意識の変化をアンケートで確認する。
- ・アンケート結果から必要な防災対策をワークショップで検討する。
- ・検討結果を大野町自治会の防災イベントに反映していただくよう提案する。



- 4月 2日 キックオフミーティング(事業説明)
- 7月 3日 防災アイデアコンテストに記載のアンケート概要説明
- 7月 31日 防災イベントマニュアルの配布とアンケート内容の打ち合わせ
- 10月 1日 アンケートの自治会役員及び各種団体への説明
- 10月 7日 防災アンケート会場準備とアンケートの記載方法の事前打ち合わせ
- 10月 8日 アンケートの記入(イベント当日)
- 2月 5日 班長向けアンケート結果報告&WS
- 3月 12日 大野町通常総会にて概要説明

●事業成果

<解決できた地域課題>

- ・大野町の防災に関する課題の洗い出しができた。
- ・各種課題についての気づきが住民自身に生まれた(この段階では問題解決の手法の発見までには至ってない)。
- ・事前に防災アイデアコンテストを実施したことにより、家族で話し合う機会や自らが考えることが重要であるとの気づきが生まれた。
- ・WSでの話し合いでも次年度以降も防災の取り組みの内容の効果測定が必要なことから、継続的にアンケートを実施していきたいとの意見が出た。

<地域社会への効果>

防災アンケート調査を継続的に実施することで、その有効性・効果等について定量的に分析することができる。その結果、今後の各務原市のまちづくりに関する基本計画の策定に寄与する。また、防災アンケート調査報告書は、自治会の実施計画だけでなく、他の自治会等からも先駆的な取り組みとしての事例研究の対象となる。

●団体の活動目的・目標

住民の安全・安心・地域社会の課題の解決に取り組む活動(事業)を持続的に支援し、以下の事業に取り組めます。

1. 自主防災に関する事業のサポート
2. 大野町認可地縁団体登録と土地の利活用に関する事業のサポート
3. 行事案内(情報誌)発行やホームページの運用
4. 大野町の地域振興・地域課題の解決に関する事業のサポート
5. その他、よいまちづくりに必要な事業のサポート

No.6	団体名	スコーレ各務原		
助成金種類 事業名	スタート助成<2年目> 子育て・親力アップセミナー事業			
事業概要	子育て中の家庭の養育者を対象に、これから育っていく子ども達の健全な育成を目指して、広く子育て講座やセミナーを開催して家庭のあり方を伝え、必要に応じてサポートしていく。			
事業費総額(予算)	151,500円	助成金交付決定額	50,000円	
事業費総額(確定)	144,405円	助成金額(確定)	48,000円	
主な経費内容	交通費、ポスター、チラシ、コピー代、感染症対策消耗品、会場使用料、情報誌掲載広告料、リモート配信機材レンタル代			

●実施内容

■子育て・親力アップセミナー①

日時:7月5日(火)10:00~11:30

参加者:会場 18名・オンライン 14名

場所:那加福祉センター集会室

テーマ:「未来がもっと輝く!子どもの心に自信を育てる!~個性を伸ばす子育て~」

内容:自己肯定感を育むために、既に兼ね備えている長所を見つけ伝える。

共感体験による可能性の伸ばし方を、日常の具体例をあげられ学んだ。



■子育て・親力アップセミナー②

日時:10月26日(水)10:00~11:30

参加者:会場 10名・オンライン 1名

場所:那加福祉センター集会室

テーマ:「今こそ!生きる力を育てる~親子で育もう!自己肯定感~」

内容:家庭での関わりや、可能性の伸ばし方、自己肯定感の高め方を講師からお聞きした。会場内の隣の方と、相手の良いところを伝えあう時間を設け、皆で取り組み、褒められることの喜びを体験した。



■両日とも質疑応答時間を設けた。

Zoomのライブ受講からも受け、講師に回答をもらった。

■アンケートを配布。日頃の悩みを記入してもらった。2回目は個別相談シートも配布し、後日相談の受付もした。

4月	7月セミナー開催の企画会議	8月10日	教育委員会報告書提出
4月20日	教育委員会へ後援申請	8月18日	教育委員会へ後援申請
5月下旬	学校、幼稚園へチラシ配布依頼	9月中旬	学校、幼稚園へチラシ配布依頼
6月23日	横断幕印刷	10月3日	講師と内容打ち合わせ
7月3日	会場リハーサル	10月16日	横断幕印刷
7月5日	子育て・親力アップセミナー①	10月26日	子育て・親力アップセミナー②
7月15日	反省会	10月30日	反省会
7月下旬	学校、幼稚園へチラシ配布のお礼まわり	11月~12月	学校、幼稚園へチラシ配布のお礼まわり

●事業成果

・アンケートからは、「実践できる事を、わかりやすく教えて貰え良かった。」「わかっているけど出来ないことばかりだったが、やってみよう!と気持ちを切り替えられた。」など気づきの言葉もあり、肯定的な意見を多く頂けた。また、「子育てを見つめ直したい。」「変えていきたい。」と具体的な変化がみられた。

・子ども、家庭をよくしたいとの保護者の皆さんの要望があることがわかり、前向きにより良く関わってもらえる様、セミナーで学び、希望される方全員に個別相談を通し、其々の家庭にあった方法と相談の場を提供出来た。

・子ども達が育つ家庭を支える保護者の皆さんへ、地域のサポーターになれていると感じられた。

●団体の活動目的・目標

家庭教育及び女性教育の振興をスコーレ(人間の資質を高めるための余暇の活用)を通して行うものである。

すなわち、家庭教育力、女性の自己教育力及びボランティア活動への意識の向上を図り、以て、共に生き、共に学び、共に幸せを希求する生涯学習の推進を目的とする。

No.7	団体名	雄飛地区まちづくり委員会		
助成金種類 事業名	まちづくり助成<2年目> 夏祭りプロジェクト事業			
事業概要	雄飛地区内にある川崎山薬師寺で毎年8月の盆踊りに合わせ、境内の一部でバザーを出店し、雄飛地区内外から老若男女多数参加してもらい、地域活性化の相乗効果を図る。			
事業費総額(予算)	320,280 円(変更後)	助成金交付決定額	103,000 円(変更後)	
事業費総額(確定)	261,973 円	助成金額(確定)	84,000 円	
主な経費内容	光るおもちゃ代、消耗品費、チラシ印刷費、事務用品費、ペーパーバッグ行燈関連費、提灯関連費(短冊印刷代、ライト用乾電池代、取付紐代)、フェイスシールド代、提灯設置資材、傷害・損害保険料、投光器、テント、提灯、提灯ライト、投光器保管ケース、トロ舟、スタッフ飲料水・熱中症対策用飴(助成対象外経費)			
<p>●実施内容</p> <p>■「静かな夏祭り」の開催</p> <p>日時:8月20日(土)18:00~20:00 場所:川崎薬師寺境内 参加者:来場者108名、スタッフ14名</p> <p>内容:①協賛を募り薬師寺の表参道と裏参道に提灯(120丁)を設置。</p> <p>②小学6年生を対象にペーパーバック行燈(5灯)を作成してもらい「将来の夢」や「今はまっていること」を絵に描いて展示。</p> <p>③参加者には光るブレスレットを装着してもらった、また、宝探しとして、協賛者様から拠出いただいた品物番号を短冊に貼付け、探してもらった。</p> <p>4月21日 飲食などを少し増やすかの検討を実施⇒増やしたい 5月1日 雄飛地区自治会連合会の定期会議で飲食を増やす件を報告 5月26日 ソフトドリンクのみ販売 他は光るおもちゃとも鉄砲に決定 6月23日 いも鉄砲は中止としソフトドリンクを無償提供に変更 昨年同様の「静かな夏祭り」に方針変更 提灯を80丁増やすことを決定 7月中旬 チラシの手配 購入備品などの手配開始 7月下旬 協賛者集め及び宝探しの景品の募集 8月20日 夏祭り本番(雷が発生したため20時で終了) 9月4日 雄飛地区自治会連合会定例会において夏祭りの結果報告 12月22日 夏祭り最終収支報告実施</p>		   		
<p>●事業成果</p> <p>・感染拡大が続く中、拡大を求めるのではなく、昨年の実績を踏まえさらに昨年と違うことにチャレンジした。 ・提灯の大幅な追加で50年近く前に実施されていた表裏の参道一杯を提灯で灯すことができた。結果、旧来からの住民・若い世代ともに参加があり、相互扶助に向けた一歩となった。 ・提灯を利用して参加者に宝探しをしてもらい協賛者様を確認してもらうことができた。 ・協賛者の募集の仕方を変え参加しやすくすることで、昨年の7件から19件に増やせた。結果として、地域事業者にも地域行事に関わってもらえる体制が整ってきている。</p>				
<p>●団体の活動目的・目標</p> <p>1. 安全・安心が保たれるまち 2. 三世代が生き活きと共存しているまち 3. 世代間・地域内コミュニケーションが充分にとれているまち 4. 個々の多様性を認め合い、支え合うまち</p>				

令和5年度交付事業

令和5年度は、以下の12事業が交付決定しました。

スタート助成1年目 (NO.1)			
No	事業名	分野	団体名
1	世代をつなぐ!心をつなぐ!惣菜事業	まちづくりの推進	一般社団法人まちのごえん
2	子育て応援サークル事業	まちづくりの推進 子どもの健全育成	おひさま
3	防災連絡協議会事業	災害救援活動	川島防災クラブ
まちづくり助成1年目 (NO.4~9)			
4	いのちのつながりフェス事業	子どもの健全育成	性教育団体「いのちの授業」 ここいく
5	おいしく食べていっぱい遊ぼう事業	社会教育の推進	結愛ポート
6	各務原市全国まちおこし映画祭事業	観光の振興	各務原市全国まちおこし映画祭 実行委員会
7	地域の伝統芸能和太鼓の継承と地元愛の育成事業	学術、文化、芸術又はスポーツの振興	各務原太鼓保存会
8	住民が取り組む避難所立上げ手順確認事業	災害救援活動	八木山自主防災会
9	大規模災害時における避難行動要支援者に対する避難支援訓練事業	災害救援活動	鵜沼南町自主防災組織
まちづくり助成2年目 (NO.10~12)			
10	地域文化芸術レガシーの承継と新たな挑戦2:第2回貞奴芸術祭(萬松園編と映画編)の開催事業	学術、文化、芸術又はスポーツの振興 観光の振興	創作オペラ「貞奴」 プロジェクト
11	マルシェによる子どもたちの成功体験応援事業	子どもの健全育成 社会教育の推進	NPO法人 for your smile
12	ミニSLによる三世代交流再開事業	まちづくりの推進 子どもの健全育成	ミニSL各務原

令和5年度事業の様子は、随時、「令和5年度交付事業取材レポート」でお知らせします。

取材レポートは、市ウェブサイトへの掲載・公共施設パンフレットラックへの配架を予定しています。

市ウェブサイト <https://www.city.kakamigahara.lg.jp/> から

ホーム > くらし・手続き > 市民活動・まちづくり活動・自治会 > まちづくり活動
> まちづくり活動助成金 > 令和5年度助成交付事業 > 令和5年度交付事業取材レポート

